

昭和八年七月二十八日第三号

便物認可

昭和十二年十二月二十七日印刷納本

昭和十三年一月一日發行

(二回二日發行)

愛知教育

新 年 號



號一百六第 年三十和昭 433/444

(二) 町村ニ在リテ

八重區町村民ノタメ成

ル可ク次號ニ掲タル時

刻ヲ期シ神社、學校、

公會堂等適當ナル場所

ニ於テ祝賀ノ方法ヲ講

ジテ前項ノ趣旨ノ徹底

ヲ圖ルコト。

(三) 當日午前十時ヲ期

シ「新年奉祝ノ時間」

ヲ設ケ前各號ノ式典ニ

參列セザル一般國民ハ

各家庭其ノ他ノ場所ニ

於テ大々宮城遙拜ヲ行

フコト。

此ノ爲同時刻ニハ汽笛

サイレン、鐘等ヲ用ヒ

適當ナル周知方法ヲ講

ズルコト。

尙ラヂオハ同時刻ニハ

新年奉祝ノ時間ノ放

送ヲ行フコト。

(四) 奉祝ノ方法ニ付テ

ハ時局下ニ於ケル新年

ノ特別ナル意義ヲ強調

スルニ留意スルコト。

所謂名校長に呈す
校長に要望する十ヶ條
教育的判断を正しく

万山生五十四
萬訓瀬生五十五

◎新春を壽ぐと共に
花井金藏・石川小一郎・大見延一・鈴木豊・長尾重陽

五八

思ふと乙ろ

榎原文太郎・五九

新人セクション

青木誠六一

支那事變の教育的管見

名古屋東八輔校

六六

理科教育振興座談會

伊奈森太郎・七五

職業指導を織り込んだ高等小學校の實際

高橋清次郎・杉野三次郎・石田利作・小島錦之助

八〇

數學教育界を巡禮して

名古屋丸山校

森間三郎・八〇

國體の本義讀後雜考

名古屋正色校

塚本清一郎・八六

九三

教育生活の回顧

河合絹吉・杉山艶・高橋清次郎・杉野三次郎・石田利作・小島錦之助

八六

消費節約代用品の使用と廢品の蒐集利用

太田鴻村選一

九三

時局資料

芝野艶子

一〇七

◇消費節約代用品の使用と廢品の蒐集利用

太田鴻村選一

一二三

誌上講習表類整理(五)

太田鴻村選一

一七八

俳壇暁紅集

太田鴻村選一

一七八

歌壇

太田鴻村選一

一七八

時局資料

太田鴻村選一

一七八

喫茶室

太田鴻村選一

一七八

カラーリー

太田鴻村選一

一七八

セクション

太田鴻村選一

一七八

おらが春の校長さん(實歲の校長顔見世)

太田鴻村選一

一七八

教界漫話

太田鴻村選一

一七八

今年のエトは僕のエト

太田鴻村選一

一七八

昭和八年正月二十八日
三省利文物社

昭和十三年一月二十七日印刷納本

昭和十三年一月一日發行

（毎月一日發行）

愛知教育

號 月 二



號二百六第 年三十和昭

内 容

卷 頭

新學務部長 越野菊雄氏寫眞

國民精神總動員第二回強調週間實施要綱

神國日本の諸表現

第一師範教諭 高木 元裕

學務部長水井浩氏を送る

研究 子供の夢と睡眠

岡崎師範第 后藤 博美

新人セクション

支那事變の教育的管見

名古屋市八幡校 青木 誠

私の讀方考査法

名古屋市花木校 加藤 政吉

訓育に於ける理論と實際

女子師範第 土木 勝

若き教師の心に聽く

人生觀を深めよ

多喜 生三三

山の教師に望ましきもの

山の一教師

三つの希望

一藤 生三三

先生のプロファイル

芳田 五十五

廢物をがうして生かせ

四〇

時局

縣の團體訓練生活改善の實施方策

四三

知多郡三和村の農村更生と學校教育

四一

誌上

衣類整理

芝野艶子：四五

文藝

中等學生の喫茶店・飲食店入りについて 教諭主導 洲濱文太郎：四九
小説 冬晴れ 林志津：五一
俳壇 如月集 太田鴻村選：五六
歌壇 太田・志賀共選：五九

墓報

◎教育課便り ◎學校關係二月行事 ◎二月郡市行事
◎本會記事 ◎二月中ニ進達スペキ文書一覽

編輯後記

喫茶室

強盗と間違へられた先生の話

力ラント
セクション

映畫界 漢語
校長先生漫畫訪問記
時代評

原吉
平三
無爲庵主人
生六

昭和八年七月二十八日第三種郵便物認可 昭和十三年二月二十七日印刷納本 昭和十三年三月一日發行(每月一回一日發行)

愛知教育

三月號



昭和三十一年第三百六號

内 容

◇新しき愛知縣廳舎の威容

中等學校長會同の際に於ける演述：學務部長 越野菊雄……

◇中等學校長宣誓

河村秀根の紀典學について

第二師範校 潤岡田 稔六

主題意識を働かせること

岡崎師範 攻科 鈴木早苗一〇

圖授 稿規 定

隨筆 教育者雜記

女子師範學校 勉文千利一七

新人セクション

家庭に於ける兒童創作への「藝術生活發展の方案」

碧海小高原校 深草千里一七

文 通

明治第一校 石川義雄一三

◆愛知縣中等教育研究會々則
雜感 教育語錄

福岡銘二二八

農山漁村教育座談會

三〇

隨想散録なき元童

開崎三萬七千山

東春理科研究授業

松津壽美四九

愛知縣の貝類(二)

名古屋市天野景從五三

郷土史料をあさりて

伊奈森太郎五七

祝祭日儀式用唱詠解説

五九

安城常設婦人講座の状況

社会教育調査部六六

國民精神總動員第二強調週間實施要項

各郡市小學校長會六九

文藝

無駄歌
伊壇春曉集
歌壇
口林志津七四
太田鴻村選
太田・四賀共選

日本會記事事

報

日本會通報

三月車二進達スペキ文書

喫茶室

校長先生漫畫訪問記(中野龜松氏の巻)
吉平二

教界漫話
兎耳男五

視學來校異聞
六

文藝雜評
感藏王山麓八

力セクタ
一ノシク

偶

昭和八年七月二十八日第三種郵便物認可 告和十三年三月二十七日印刷納本

昭和十三年四月一日發行 每月一回 (日發行)

愛知教育育

科學 教育 特輯 號



昭和十三年四月四日第460號

内 容

◎理事長送迎の辭

◎本多光太郎博士寫眞と略歴

小學校に於ける理科教育振興策

愛知縣教育會初等教育調査部

科學と人生

安藤秋三郎 五

科學教育と人間教育

岡崎師範校長

後藤三郎 三

科學的陶冶と人間教育

女子師範附屬主事

稻垣 隆 俊 五

理科と教師

女子師範校長

瀬谷眞吉郎 一

感 所 集

西尾高女校長 世 界 政 寛 一
市立第一高女 校長 山 内 太 一
横須賀高女校長 橋 木 遷 一
縣立工業校長 本 村 德 謙 一

丹羽高女校長 木 戸 具 一
名古屋高女校長 高木 錠 太 郎
縣立農業校長 永 塚 磐 治
半田農業校長 村 上 茂

豊橋農業校長 稲 佐 一
作手農業校長 稲 佐 一
縣立工業校長 木 村 德 謙 二
縣立農業校長 木 村 德 謙 三

愛知縣工業教育の前途

東京師範學 橋 本 爲 次 三

四〇

わが郷縣の初等理科教育を覗見して

東京師範學 橋 本 爲 次 三

四一

理科教育の振興に就いて

同略 師範教諭

松原篤四郎 四

理 科 教 育 雜 感

名古屋正色校 長 尼 生 一

四二

科 學 教 育 に 就 し て

久 流 四

理科教育の萌芽

四三

究 文化教育學より觀たる新算術

名古屋市明倫
幼稚園訓導 堀江增治郎 六五

ガリレイの精神に歸れ

岡崎師範教諭 渡部勝三六七

新人セクション

- 理科教育實踐上に於ける私見の一端 岡崎市國校訓導 中垣兼松 七〇
學校放送聽受信器の設計 農礦省田技訓導 大河内脩三 七五
圖書教育雑感 西尾豊高訓導 櫻井清美 七八

放送教育を實踐して 名古屋市松榮尋常小學校 八〇
我が校の理科教育實踐 名古屋市第三高等訓導 小林裕 八五

- 叔父の横顔 本多兵三郎 九二
△教護聯盟の貢献 愛知縣教育會 九五

小學校理科教材指導上の注意 初等教育調査部 九五
資料 愛知縣の貝類(二) 商業學校教諭 天野景從 一〇五

郷土史料をあざりて 伊奈森太郎 一〇八
△教護聯盟の貢献 愛知縣教育會 九五

俳壇 脣月集 太田鴻村選一二
愛知教育歌壇 太田・四賀共選二二七

- 一ラカ 視る者漫言 天眼生 一一
シク 校長先生漫談訪問記(町田利玄氏の巻) 吉平 一五
ニヨ 教界漫話 無爲庵主人 七八
文藝雑評 八

昭和八年七月二十八日第三種郵便物認可
昭和三十一年四月二十日印鑄
昭和十二年五月一日行方第一回一目發行

愛知教育

五 月 號



昭和三十一年五月二十號

内 容

◎磯丸に關する寫眞

教育の現實的なあり方に就いて 方 義二

聖徳太子と現代教育思潮 海部萬日草校訓導 加藤顯定 八

時變と教育

教師としての一つの態度 関崎三島校訓導 出田甫一四

時局の言葉と兒童 知多芦屋校訓導 小倉至一五

本校に於ける時局教育 名古屋南久屋校訓導 福岡晋作 七

新人セクション

讀方に於ける解釋力の養成 西春西枇杷島校訓導 山田實一三

▣教育時評

長尾重陽 二六

生活感想文

リブとイギリスト 知多八幡第二校訓導 鈴木卯吉 二八

斷想 二つ

碧海高瀬校訓導 後藤善平 二八

僻村の教育に生きんとす

よき相談相手たれ

思念 生三〇

三年目を迎へて三年特配訓導を迎へて二年

北斗 生三一

感謝と共に

城南 生三三

曙光一島の教育

S 北設名倉校訓導 島居孝生 三四

三年目を迎へて三年特配訓導を迎へて二年

内幸雅生 三六

讀方教授の背景となるもの

愛知女子師範教諭

淺井 非峯 治四〇

二大根本義

國際教育學會

日比野 寛 四六

小學校理科教材指導上の注意（二）

愛知縣教育會 初等教育調査部 五四

學術資料

水谷豊文翁とシーボルトの關係について

吉川 芳秋 六二

郷土史料をあさりて

伊奈森太郎 六六

愛知縣の貝類

名古屋市立第二商業教諭 天野景從 七三

法令解説 小學校に於ける算術と國籍簿との改正について

伊奈森太郎 六六

時局資料 ス・フ織物と其裁縫について

吉川 芳秋 六二

参考資料 遙拜・國旗掲揚に就いて

吉川 芳秋 六二

新味ある秀歌の鑑賞（二）

吉川 芳秋 六二

愛知教育歌壇

吉川 芳秋 六二

文藝報

吉川 芳秋 六二

五月申ニ進達すべき文書

吉川 芳秋 六二

喫茶室

吉川 芳秋 六二

校長先生漫畫訪問記（野山忠幹先生之卷）

吉川 芳秋 六二

文藝放談

吉川 芳秋 六二

教育界漫話

吉川 芳秋 六二

映畫時評

吉川 芳秋 六二

カ
ラ
シ
ク
セ

喫茶室
校長先生漫畫訪問記（野山忠幹先生之卷）
文藝放談
教育界漫話
映畫時評

五月申ニ進達すべき文書
喫茶室
校長先生漫畫訪問記（野山忠幹先生之卷）
文藝放談
教育界漫話
映畫時評

吉川 芳秋 六二
吉川 芳秋 六二
吉川 芳秋 六二
吉川 芳秋 六二
吉川 芳秋 六二

無爲庵主人 六五
原生 六七

昭和八年七八一十八日第

物認
昭和十三年五月二十七日創編本 昭和十三年六月一日發行

愛知教育

六月號



昭和三十一年六百六號

内 容

■新任愛知縣學務部長小田成就氏の寫眞略歴

教育の現實的なあり方に就いて (三) 二 方 義 二

聖徳太子と現代教育思潮(一)

碧海郡六ツ美第二尋常高等小學校……七

吾が校全體教育向上の一施設「はげみ」に就いて

本校に於ける教材研究の一端(史話教材の取扱について)

碧海郡赤羽根校 國語研究部……四

三河の鑛物を尋ねて 女師附小訓館 松 尾 政 雄……二七

■教 育 時 評 長 尾 生 三

—新人セクション—

時局と綴方教育……………岡崎市連尺校訓館 深津 時二郎……三一

繼續觀察による綴方の實踐……………丹羽古如野西校 調 杉 浦 盛 雄……三三

本校に於ける剣道教育……………安城第一校訓館 林 實……三八

満洲國の學制に就いて……………奉天農業大學 石 川 銑 一……六二

幕末に於ける尾張藩の活動(一).....

愛知一中教諭 赤 尼 藤 市 五 六

郷土史料をあさりて.....

伊奈森太郎 七三

初夏に注意すべき學校衛生..... 愛校衛生技師 守 孝 雄 六 七

表彰された三小學校の教育.....

太田水穂

太田鴻村

太田光子

共選

八一

二二

知多郡大府第三尋常小學校・碧海郡高岡村堤尋常小學校

名古屋市依尋常高等小學校

小學校理科教材指導上の注意(三)..... 愛知縣教育會初等教育調査部 五〇

俳壇 青葉集

吉

平

四

五

六

歌壇

□中等教育研究會會則(修正されしもの)

八七

カ ラ セ ー ク シ ン ヨ	喫 茶 室	吉	平	二
漫 畫 訪 問 記	(間瀬勘作氏の巻)	吉	平	二
腰 辨 談 義		吉	平	四
教 界 漫 話		無 爲 庵 主 人	五	
井 蛙 の 手 記 か ら		藏 山 生	六	

図彙

図本會記事

六月申ニ進達すべき文書一覽

愛知教育

實業教育特輯



昭和三十一年七月七日第670號

内 容

◎理學博士加藤與五郎氏寫眞・略歴・業績

支那抗日勢力の現狀と日本國民の態度 梶原勝三郎 (一)

實業教育雑感 志賀平 (一六)

實業教育の再検討 花井金藏 (二三)

師範學校に於ける實業科の教育 島田民治 (三七)

中學校に於ける實業科に就いて 久野新松 (四〇)

時局と商業教育 川畑眞吉 (四四)

時局と農業教育 三宅義一 (四六)

中學校の實業科 中村準一 (四九)

一本縣下の現狀を主として

農村振興と青年學校 鈴木繁尾 (五六)

漁村青年の水產教育に就いて 北井浅夫 (五八)

我が校の教育方針 岩津農商學校 (六〇)

經營學と商業學校校務について 魏谷精 (六二)

商業相談所の經營 中西三郎 (六六)

ショーランドと照明 高間忠敏 (六九)

小麥粉製造 堀部三郎 (七三)

畜産の指導 大竹榮 (七六)

福豆の栽培

中根林市(八四)

圖書雑言

仙政道(八八)

直體

日比野寛(九二)

尋常小學地理書卷一の概評

豊島松治(九四)

尋常小學地理書卷一内容の時代性

野口喜一(一〇〇)

幕末に於ける尾張藩の活動(二)

赤尾藤市(一〇三)

■新任小學校長招待座談會

郷土史料をあさりて

伊奈森太郎(一一一)

新味ある秀歌の鑑賞

四賀光子(一二四)

歌
俳
壇

太田・四賀共選(一一六)

校長先生漫畫訪問記(川田長兵衛氏の卷)

吉平(一一三)

帝國教育會總會概況

鬼頭・林・三井・村瀬(一三六)

全國小學校女教員大會記

林・山中(一三三)

大會餘韻

山中・林(一三六)

■日本文化協會愛知支部記事

(一四〇)

■愛知縣農業教育研究會記事

(一四五)

■七月郡市行事

(一四九)

■彙報

(五一)

◇七月上進達文書表

(五四)

昭和八年七月二十八日第三種郵便物認可
昭和十三年七月二十七日刷納本
昭和十三年八月一日發行(毎月一回一日發行)

愛知教育

號月八



號八百六第 年三十和昭

内 容

□口 繪寫眞 東海体操大會・御法式歡迎俳句大會・全日本健康優良兒淺野その子

事變の回顧と今後の覺悟…………島田民治（一）

東亞の新資源及びこれ等開發に對する
我が邦の化學研究…………加藤興五郎（六）

國語教育雜感…………瀬谷眞吉郎（一一）

續視察雜感（其の一）…………大見延一（一七）

綠陰熱言冷汗…………天眼生（一九）

靜岡・神奈川縣地方青年教育視察記…………原三郎（一三）

□教 育 時 評…………長尾生（一八）

物心總動員に對し實業教育上特に留意すべき事項

實業教育調査部 (三五)

郷土史料をあさりて

伊奈森太郎 (三八)

歌壇

太田・四賀共選 (四三)

俳壇

太田・油村選 (五四)

熱苦言 楠陸生 (一)

安藤秋三郎先生を漫畫にする 吉平 (二)

教界漫話 (八) 無爲庵主人 (五)

銃後美談 二篇 「銃後美談集」より (六)

ショシクセーラカ

△八月市郡行事 (六一)

△中等教育研究會記事 (六一)

△本會記事 (六二)

△報 (六三)

△八月中進達文書表 (六四)

昭和八年七月二十八日第三種郵便物認可

昭和十三年八月二十七日印刷納本

昭和十三年九月一日發行(毎月一回)日發行

愛知教育

號 月 九



號九百六第 年三十和昭

内 容

□口繪寫眞 教育課長飼手眞吾氏・愛知一中新校舎・教諭聯盟主催野營隊

「経」と「行」 濑谷眞吉郎(一)

昭和十二年度學校卒業別壯丁検査成績 中島 銳雄(一九)

小學校理科教材指導上の注意(四) 初等教育調査部(一四)

生物教材の顯微鏡觀察指導法 宇野 鐵雄(二三)

教育時評 二方生(三〇)

個人の行動の社會性 淺井峯治(三一)

伊藤圭介翁の旭園址 吉川芳秋(三三)

尾張月並市場年表 森徳一郎(三六)

郷土史料をあさりて 伊奈森太郎(四二)

國語と民俗學(一)

折口信夫(四九)

歌

壇

太田・四賀共選(六〇)

俳

壇

太田・鴻村選(六六)

校長先生漫畫訪問記(川畑眞吉さんの巻)吉平(七三)

教界漫話(九)

無爲庵主人(七四)

冷房裝置

(七五)

本縣下中等學校入學第一志望者數調

(七七)

◆九月市郡行事(七八)

◆互助會記事(七八)

◆本會記事(七九)

◆墓報(八二)

◆九月中進達文書表(八一)

愛知教育

號月十



號百六十六第 年三十和昭

内 容

□ 繪寫眞 集團勤勞作業（一師・女師・縣・女生徒）

繼續觀察の教育的意義 松尾政雄（一）

尋常科第三學年以下の理科教育について 初等教育調査部（六）

小學校理科教材指導上の注意（五） 初等教育調査部（二）

中等學校入學者選拔考查問題について （四〇）

中等學校入學考查と新小學國語讀本 吉屋名生（四七）

小學國語讀本卷十二第三について 吉田富夫（五一）

郷土史料をあさりて……………伊奈森太郎……(六五)

裁 斷 橋……………久野てつ……(六七)

大和の精神……………武山魁芳……(六九)

教界漫話(二)……………無爲庵主人……(七〇)

新萬葉集秀歌鑑賞……………四賀光子……(七一)

歌壇……………太田・四賀共選……(七二)

俳壇……………太田鴻村選……(七七)

⊗十月市郡行事……………(八一)

⊗農業教育研究會記事……………(八三)

⊗木會記事……………(八三)

⊗藝報……………(八五)

⊗十月進達文書表……………(八六)

昭和八年七月二十八日第三種郵便物認可 昭和十三年十月二十七日印刷納本 昭和十三年十一月一日發行(毎月一回)上野毛

愛知教育育

號月一十



號一百六第 年三十和昭

内 容

◆ 繪寫眞

愛知一中訪問のセットラーゲント派遣團一行・女子中等學校作品展

新 知 育 論

長 田 新 (二)

改正學籍簿の記入に就いて (一)

學籍簿研究部 (二六)

教 育 時 評

長 尼 生 (二〇)

小學校理科教材指導上の注意 (六)

初等教育調査部 (二三)

篠島・渥美の海岸風景

田 中 吉 藏 (三三)

農村高等科女兒童の非常時認識

大 野 登 司 郎 (三五)

郷土史料をあさりて

伊奈森太郎……(五〇)

校長先生漫畫訪問記

吉平……(五三)

教界漫話(一)

無爲庵主人……(五五)

新萬葉集秀歌鑑賞

四賀光子……(五六)

歌

太田・四賀共選……(五七)

俳

太田鴻村選……(六二)

壇

◎十一月市郡行事……(六七)

◎日本文化協會愛知支部記事……(六七)

◎中等教育研究會記事……(六八)

◎農業教育研究會記事……(六九)

◎本會記事……(六九)

◎藝報……(七二)

一九三八年十一月二十七日印 刷納方 昭和十三年十一月二十七日印行(毎月一回)日發行

愛知教育

號 月 二十



昭和三十一年第百六十號

内 容

改正學籍簿の記入に就いて (二)

學籍簿研究部 (一)

再建すべき書方教室 原田鳴石 (七)

子供の劣等感 柴田武 (十三)

讀に徹する讀方の學習訓練 市川秋雄 (十五)

方言と國語教育 原重吉 (三)

綴方統制の論理 田中喜一郎 (五)

國史教材研究年齢取扱の一考察 近藤勇馬 (三十)

空中細菌の簡単な採取培養實驗法 宇野鐵雄 (三)

自己に呼びかけるもの 牧野元 (三八)

時局と訓育 木村喜七 (四〇)

健康教育協議會に參じて 早川基 (四二)

地名から見た一千年前の名古屋 加東 靖（四六）

郷土史料をあさりて 伊奈森太郎（五一）

日置若宮八幡社に於ける管絃の神事 河村 覚一（五三）

家事裁縫研究會を終へて 山田せい（五四）

新萬葉集秀歌鑑賞 四賀光子（五六）

歌 増 太田・四賀共選（五七）

俳 増 太田鴻村選（六二）

愛知縣中等教育研究會會員學校表（六八）

□中等教育研究會記事（七〇） □十二月市郷行事（七〇）

□木會記事（七〇） □十二月進達文書表（七一）

□藝 報（七三）

◇兵庫縣下大水害義捐金領收報告（七六）

◇昭和十三年一月號より十二月號までの要目總錄（七九）

昭和十三年六月三日

愛知縣教育會概要

愛
知
縣
教
育
會

目 次

愛知縣教育會規則及び諸規程	一頁
昭和十二年度概況報告	八頁
第一 沿革	
第二 組織及び會員	九頁
第三 役員職員	九頁
第四 調査部委員	三頁
第五 會議	三頁
第六 事業	五頁
A、教育上緊要事項の研究及び審査施設	五頁
一、調査部の研究調査	五頁
二、講習講話會	六頁
1 小學校本科正教員保定受驗者講習會	六頁
2 地理講習會	七頁
3 祝賀日唱狀講習會	七頁
4 講話會	七頁
5 國民精神總動員講習會と教育者懇談會	七頁
三、座談會	
1 新任小學校長招待座談會	六頁
2 女教員座談會	六頁
3 俳壇吟友句會	六頁
4 時配教育員座談會	六頁
四、通俗教育	
第七 昭和十三年度豫算	三頁
第八 昭和十一年度決算	三頁
附錄 愛知縣教育會編纂圖書等一覽表	三頁
1 婦人常設課題	一頁

2. 本會識別の施作請願
元頁

3. 印刷物頒布
元頁

五、本會の後援したる教育的施設

元頁

六、聯合會加盟とその行事

三頁

七、愛知縣中等學校各科研究會聯合總會

三頁

八、パンフレット頒布

三頁

九、教育團體事務室設置

三頁

一〇、會合に對する會場貸與

三頁

B、教育に關する圖書雜誌の出版

三頁

一、雑誌愛知教育月刊

三頁

二、圖書編纂出版

三頁

三、圖書の選定

三頁

D、派遣

三頁

一、教育塔合祀

三頁

二、祈願祭

三頁

三、世界教育會議融金募集

三頁

四、米國艦船遭難者弔慰金募集

三頁

五、教員戰死者弔慰祭に祭辭奉呈

三頁